参考資料２

【越谷市中小企業振興計画策定プロジェクトチーム】

概要

１．目的

越谷市中小企業振興計画の次期計画策定にあたり、地域経済のけん引や中小企業の振興等について、自由で率直な意見交換を行い、事業者側から見た課題や意見を計画に反映させることを目的とする。

２．募集方法

公募による

３．メンバー構成（合計：20 名）

（１）市内中小企業者：10 名
（２）ビジネスサポートセンターコーディネーター：3 名
（３）越谷青年会議所：1 名
（４）越谷商工会議所：2 名
（５）金融機関：4 名

４．活動状況

〇第１回　越谷市中小企業振興計画策定プロジェクトチーム会議
（１）開催日　：７/７（火）
（２）開催場所：エントランス棟 3-1 会議室
（３）参加人数：１５名
（４）内　容　：①現行計画の概要について
②参加者紹介
③ディスカッション
ア）「事業の概要と「越谷」で事業を行うことの利点・不満や不利な点について
イ）経営課題について

〇第 2 回　越谷市中小企業振興計画策定プロジェクトチーム会議
（１）開催日　：８/１９（水）
（２）開催場所：エントランス棟 3-2，3-3 会議室
（３）参加人数：１５名
（４）内　容　：①「中小企業実態調査」（速報値）の説明
②事前アンケートの回答内容の説明
③現行計画をベースにしたディスカッション

主な意見

（1）「目標１　働きたいまち」

①越谷市で働きたい人が増えれば、中小企業に優秀な人材が集まり、成長に繋がる。
②若い世代が働きたいと思える企業を目指す。
③越谷をベッドタウンではなく、住民がそこで働くまちへ。
④人材確保及び定着できるように働きやすい職場づくりを行い、多様な人材の活躍を促す。
⑤東京都内の企業で働く人が越谷市の中小企業にUターン、Ｉターンしたくなるように環境整備や誘致活動を行う必要がある。

（2）「目標２　「稼ぐ力」の向上」

①原価、収益管理がしっかりしている事業者ほど適切に価格転嫁できており、価格転嫁支援には原価管理や値上げ方法のアドバイスが重要となる。
②原価上昇を販売価格へ反映できず、賃上げや投資の原資を確保しにくい企業の構造改善が必要。
③デジタル格差への対応が必要。

（3）「目標３　事業の持続可能性の向上」

①BCP 事業継続力強化が課題である。災害が発生する前に事前の対策を行動計画として策定しておくことで、事業の継続や早期復旧につながり、事業の継続力が強化される。
②事業承継の重要性の向上や創業の手段としての事業承継の認知向上が課題である。

（4）「目標４　創業者が挑戦しやすく、事業継続しやすい環境の実現」

①開業したいと思うまち、長くいたいまち、子育てしながら挑戦できるまち。
②創業後の孤立を防ぐ仕組みも必要である。創業者同士が気軽につながり、悩みや経験、仕事を共有できる新しいコミュニティを行政等が支援することが望ましい。

（5）「目標５　地域内経済循環の促進」

①人材、資金、情報が循環するまちを目指す。
②人口増加だけを目指すのではなく、「住む人が地域で働き、買い物をし、挑戦し、その経済効果が地域内で循環するまち」を目指すべき。
③目指すべき将来像は、「地域の中小企業が稼ぐ力と魅力を高め、その結果が雇用、所得、消費、再投資として地域内に循環するまち」である。